

令和6年度 佐賀県高等学校総合体育大会（卓球競技） 実施要項

1. 期 日
令和6年5月24日（金） 9時00分 開始式、団体戦（決勝リーグ2回戦まで）
令和6年5月25日（土） 9時00分 団体戦（決勝リーグ3回戦）、個人戦（複）決勝まで
個人戦（単）1回戦まで
令和6年5月26日（日） 9時00分 個人戦（単）決勝まで
2. 会 場
令和6年5月24日（金） 唐津市文化体育館（唐津市和多田大土井1番1号）
令和6年5月25日（土） 唐津市文化体育館（唐津市和多田大土井1番1号）
令和6年5月26日（日） 佐賀市立体育館（佐賀市本庄町大字本庄299-3）
3. 参加資格
令和6年度佐賀県高等学校総合体育大会開催基準要項による。
4. 参加制限
(1) 全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成チームは認めない。
(2) 出場人員 (イ) 団体戦は、男女各1チーム（4名以上8名以内）
(ロ) 個人戦（単）は、男女各8名以内、（複）は男女各4組以内
5. 競技規則
(1) 種 目 男女団体戦、男女個人戦（単・複）
(2) 現行の日本卓球ルールによる。ただしタイムアウトについては、団体戦は初戦より、個人戦はベスト8決定より採用する。
(3) 使用球 (公財)日本卓球協会公認プラスチック球（40mm ホワイト）とする。
(4) 服装規定 本大会に出場する選手は下記に該当する服装を着用すること。
(イ) 団体戦ベンチに入る選手は同一ユニフォーム（靴・靴下を除く）とする。個人戦（複）のペアも同一ユニフォームとする。
(ロ) ゼッケンは、(公財)日本卓球協会指定のものに限る。
(5) 団体戦は4単1複（単・単・複・単・単の順）とする。ただし、3番の複（ダブルス）は1番、2番の単（シングルス）に出場した選手同士で組むことはできない。進行状況により2台進行とすることがある。
(6) 各団体戦における外国籍選手の出場は、1回のみとする。
(7) アドバイザー（ベンチコーチ）規定は、全国、九州総体に準ずる。
・学校対抗のアドバイスは、規定時間内でベンチの監督・選手のみとする。
・個人戦でのアドバイザーのベンチ入りは以下の条件で認める。
①アドバイザーの資格は、大会申し込み時にエントリーされた当該校の監督（1名）・選手に限る。
②アドバイザー（1名）は、試合開始時に選手と共に入場すること。ただし、他のコートでアドバイスをしていた場合は、試合中にベンチに入ることができる。試合途中でコートを離れても良いが、以後はそのコートに復帰できない。（入れ替わり不可）
(8) その他の規則は、令和6年度全国高等学校総合体育大会実施要項に準ずる。
6. 試合方法
(1) 全種目11本5ゲームスマッチとする。
(2) 団体戦、個人戦ともにトーナメント法とする。ただし、団体戦ではベスト4によるリーグ戦を、個人戦（単）では5位決定トーナメントを行う。
7. 申し込み
(1) 佐賀県高体連ホームページより参加申込書をダウンロードし、必要事項を入力後、校長印、監督印を押印したものを佐賀県高体連事務局へ提出すること。
(2) 上記の参加申込書データ（エクセルデータ）を、各校内での申込締切と同時に下記アドレスへメールで送信して下さい。（佐賀農業高校 立石賢也 宛て）

tateishi-kenya@education.saga.jp

〈次ページへ〉

8. 組合せ (1) 団体戦は前年度の新人大会、個人戦は高校選手権大会等の成績を参考にしてシードする。
 (2) 団体戦・個人戦とも専門委員会で、抽選により決定する。
9. 選手変更 (1) 団体戦の選手変更は、卓球競技出場（選手・役員）変更届に記入・押印の上、大会初日開始式前までに審判長へ届け出ること。
 (2) 個人戦（単・複）においては、参加申込み後の変更はできない。出場不能の場合は棄権とみなす。
10. 備考 (1) 本大会は全国高校総体・全九州高校体育大会の予選を兼ねる。
 (2) (1)の大会の県代表数は下表のとおりである。

	学校対抗		ダブルス		シングルス	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
全国高校総体	1	1	2	2	4	4
全九州高校体育大会	2	2	4	4	5	5

11. その他 (1) 入館は8：00からとなっています。早すぎる来場はご遠慮下さい。
 (2) 体育館フロアと外では、必ずシューズの履き替えをすること。
 (3) 会場での弁当がらやゴミは各自で持ち帰ること。
 (4) 審判について
 (イ) 団体戦決勝リーグ並びに個人戦準々決勝より審判員（一般・社会人、副審は補助員）が入ります。
 (ロ) (イ)の試合以外は相互審判、敗者審判制を適用します。